

網 走 市
地 域 福 祉 計 画
【 第 2 期 】

◆ 概 要 版 ◆

令和2年3月
網 走 市

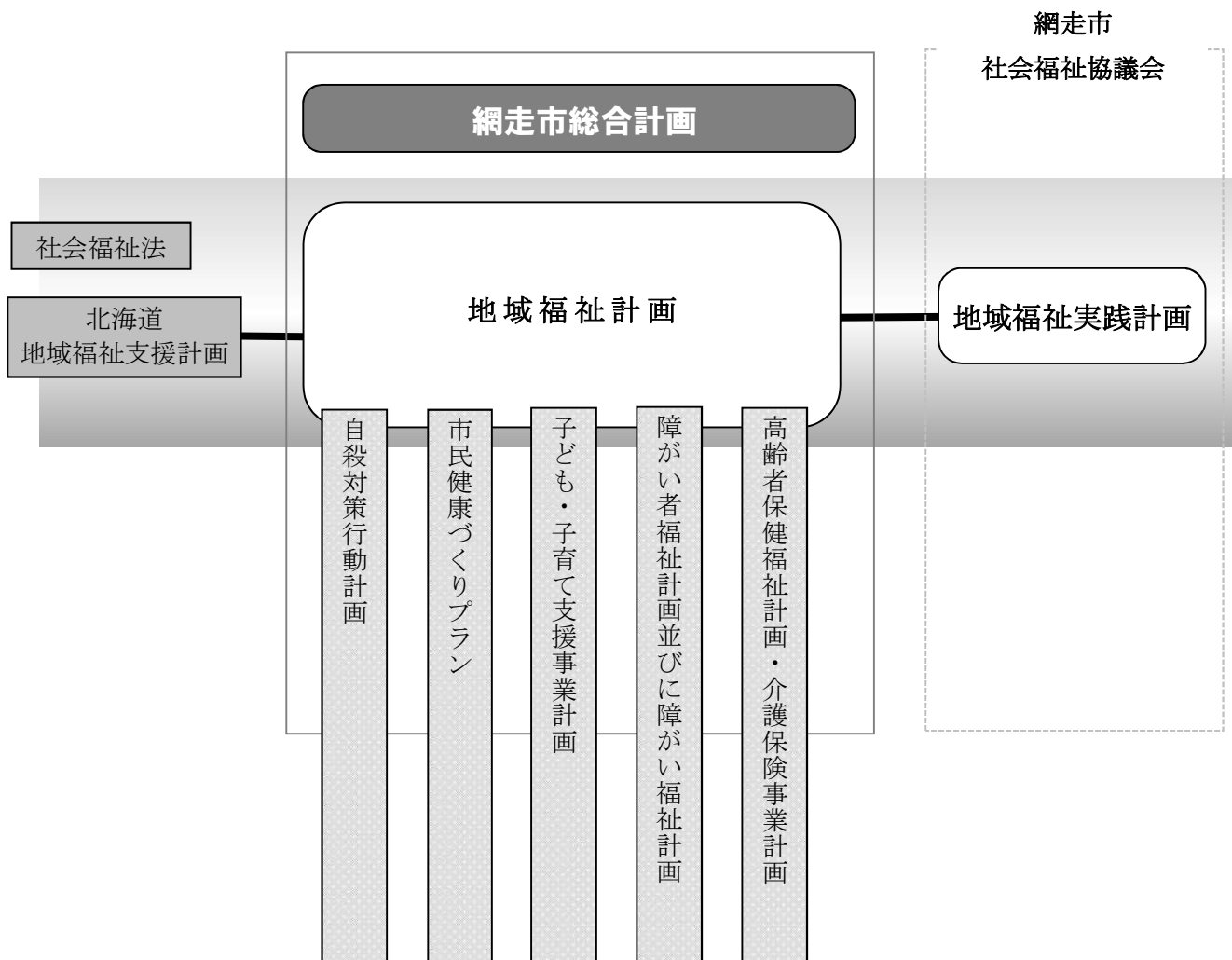
1 計画策定の概要

(1) 計画の目的

地域福祉とは、地域住民・事業者・ボランティアなどと行政が相互に協力して、福祉サービスなどを必要とする人が、地域の一員として生活しながら、様々な社会活動に参加しうる社会をつくることです。したがって、地域福祉計画は公的サービスと住民の自主的活動の連携により、利用者本位のサービスを提供する仕組みづくりを、住民一人ひとりの「共に支え合う社会」づくりという意識の共有により成し遂げようとするアピールともいえます。

そこで、本市では、地域福祉推進の主体である地域住民等の参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容や量、体制等について、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や専門職も含めて協議の上、目標を設定し、計画的に整備していくため「第2期網走市地域福祉計画」を策定します。

地域福祉計画の位置づけ



(2) 計画の期間

本計画の計画期間は、2020 年度から 2024 年度年度までの5か年とし、3年目に見直しをします。

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
計画期間				
		見直し		

(3) 計画策定の基本視点

社会福祉法や国のガイドラインに基づきながら、また本市の地域性も充分考慮しながら、計画策定の基本視点を次のとおりとします。

① 住民参画

住民を施策の対象として捉えるだけでなく、地域福祉の担い手として位置づけながら、住民の自主的活動と公的サービスの役割分担を明確にし、連携を図る計画づくりを進めます。

② 利用者主体

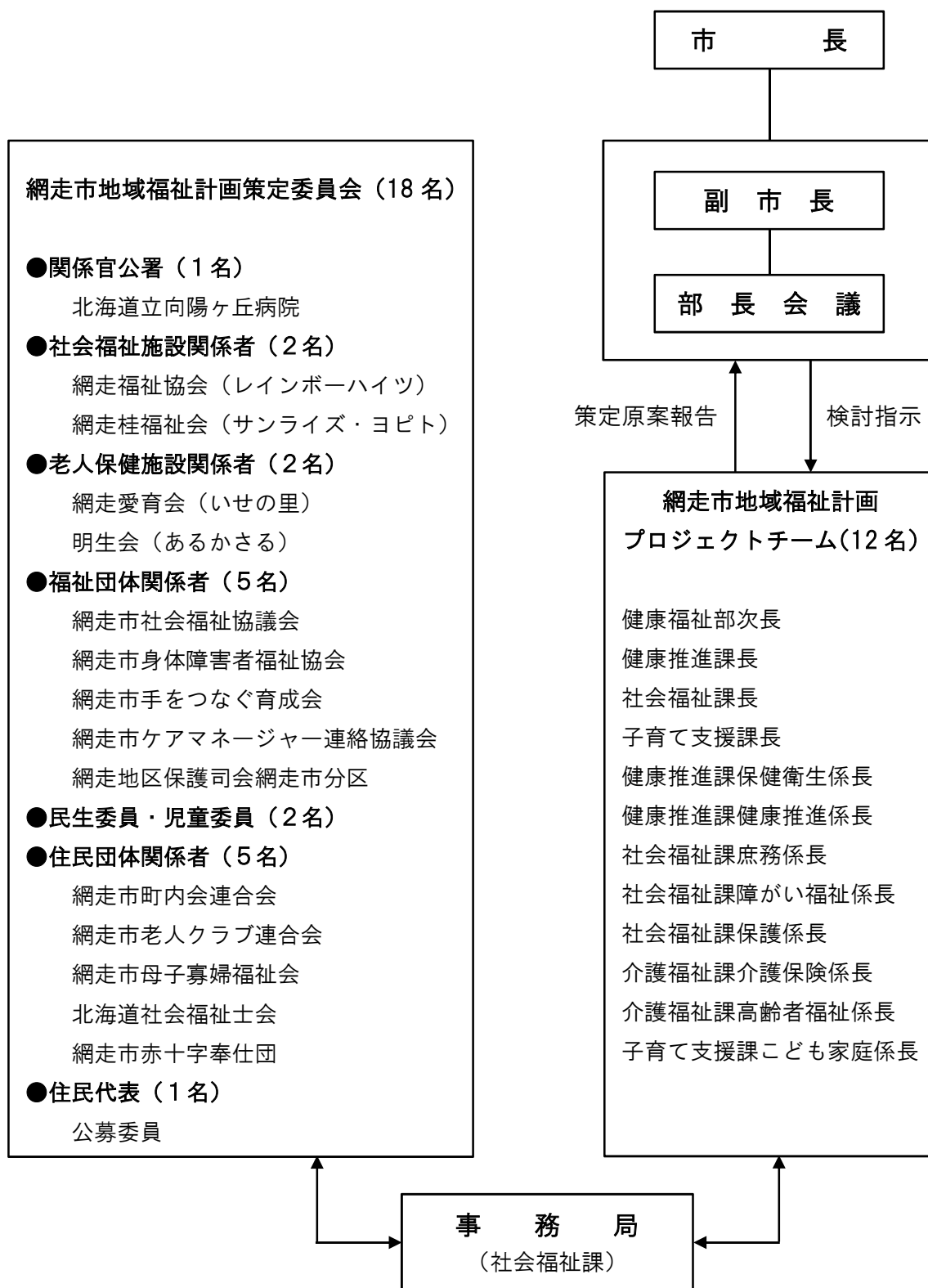
地域福祉の理念でもある「利用者本位の福祉サービス」を推進するためにも計画策定にあたっては、サービス選択権や自己決定権を保障する利用者主体の仕組みづくりを推進します。

③ 福祉ビジョン

障がい者福祉計画などの個別既存計画を総合化する理念を構築するとともに、網走市の福祉ビジョンを明らかにして、やさしい福祉のまちづくりを推進します。

(4) 計画の策定体制と経緯

本計画の策定にあたっては、計画策定の中心機関として、幅広い住民の参画を得て「網走市地域福祉計画策定委員会」を組織するとともに、市役所内部に福祉部門担当課による「網走市地域福祉計画プロジェクトチーム」を設置し、相互に連携して計画を策定しました。



2 網走市が目指す地域福祉

(1) 計画の理念

本計画では、第1期の計画で掲げてきた基本理念の考え方を踏まえながら、住民一人ひとりが主役となり、未来を創造していくことができる地域共生を推進していくため、以下の理念を設定し、その実現をめざしていきます。

**気軽にふれあい、ささえあう住みよいアバシリ
～自分らしく いきいきと だれもが輝けるまち～**

(2) 基本目標

基本理念「気軽にふれあい、ささえあう住みよいアバシリ～自分らしく いきいきと だれもが輝けるまち～」を実現していくために、本市の地域福祉推進の目指す方向を示すものとして、4つの基本目標を設定します。

基本目標1 みんなでつながり、創りあげる 網走の地域福祉

これからの地域福祉は、多様な主体の参画と協働が重要な要素となります。地域で暮らす住民の多様性を認め合い、これまで培ってきた支え合いの精神をさらに進め、網走の地域福祉を推進します。

施策の方向性

1	誰もが認め合える地域づくりの推進
2	地域への関心を高め、支えあう地域社会づくり
3	協働による地域福祉体制の推進

基本目標 2 誰も地域で孤立させないための相談しやすい仕組みづくり

高齢化社会を迎えて、地域で生活していく上での様々な課題は、多様化し複雑化しています。誰も地域で孤立しないように、困りごとや悩みごとなどを気軽に相談できることや、必要な情報を気軽に入手できることの体制づくりを推進します。

また、ひきこもりの方や生活困窮者への支援、障がい者の自立支援、犯罪をおかした人等の円滑な社会復帰の促進など、制度の狭間の課題の取組を推進します。

施策の方向性

4	制度の狭間の課題への対応
5	情報収集・提供体制の充実
6	相談体制の充実

基本目標 3 住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる仕組みづくり

住み慣れた地域でいきいきと自分らしく暮らしていけるよう、こころと身体健康づくりの推進や地域での生活を支えるサービスの充実などを推進します。

施策の方向性

7	保健・福祉に対する意識の向上
8	地域での見守り体制の充実
9	権利擁護体制の充実
10	地域福祉を支える人材の育成とサービスの充実
11	こころとからだの健康増進

基本目標 4 地域福祉を推進していくための仕組みづくり

地域福祉の推進のために、地域福祉の担い手の育成や、地域福祉推進のための意識啓発活動の推進など、持続可能な地域福祉の仕組みづくりを進めます。

施策の方向性

12	地域・行政・各種団体・事業所が協力していくしくみづくり
13	安心・安全なまちづくりの推進
14	基盤的施設整備の多面的・有効的活用

3 評価指標の設定

評価指標	現 況	目標（2024 年度）
近所づきあいをほとんどしていない人の割合	11.3%	8.0%以下
自分の地域は地域活動が活発であると思う割合（そう思う＋ややそう思う）	47.1%	50.0%以上
自分自身は積極的に地域活動に参加している割合（そう思う＋ややそう思う）	30.5%	40.0%以上
自分の地域は困っている人を助ける仕組みができていると思う割合（そう思う＋ややそう思う）	30.0%	40.0%以上
自分の地域は日頃から防犯のための目配りができていると思う割合（そう思う＋ややそう思う）	32.9%	40.0%以上
自分の地域は災害が起こってもみんなで助け合えると思う割合（そう思う＋ややそう思う）	52.9%	65.0%以上
自分の地域では、地域の清掃活動に熱心であると思う割合（そう思う＋ややそう思う）	53.2%	60.0%以上
自分の地域では、冬季の助け合いができていると思う割合（そう思う＋ややそう思う）	39.8%	45.0%以上
ボランティア活動に参加している人の割合	18.5%	25.0%以上

第 2 期 網 走 市 地 域 福 祉 計 画 【 概 要 版 】

令和 2 年 3 月 発行

発行者 網走市

編集 網走市 健康福祉部社会福祉課

〒093-8555 北海道網走市南 6 条東 4 丁目

電話 (0152) 44-6111

FAX (0152) 45-0111
